

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷発ヤマノミクス！～アルプスと自然の魅力を認識し、人とお金を呼び込むプロジェクト～
事業主体 (連絡先)	アルプス伊那活性化プロジェクト 代表 八木 択真 (080-5146-4599)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり オ その他地域の特色及び個性を活かした産業振興並び
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,481,000 円 (うち支援金：2,605,000 円)

事業内容

人口減少と地域経済の縮小という地方の危機の立ち向かうためアルプスという地域資源を活用した「登山基地・伊那」の雰囲気醸成し、継続した集客で地域全体の収益と移住・定住につなげるプロジェクト YAMA FES2016 を柱に伊那谷の魅力を共有する市民参加のアウトドアワークショップを開催。地産のりんごを使ったシードル・ヌーヴォーを楽しむワークショップ、山小屋で地酒を呑む会、伊那谷の隠れ家葡萄畑マイアーニュ収穫祭ワークショップを実施。市民が地域の魅力を認識し、連携して人を呼び込み、雇用を生み出す活動となっている。



(活)

【

【目標・ねらい】

- ①地域の魅力を地元住民が共有
- ②関係者の連携による相乗効果
- ③誘客による経済効果と雇用創出
- ④地域の情報を一元的に配信

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

当プロジェクトへの協力団体が35件から約55件に増加。フェス、ワークショップ、各種イベントのFacebookリーチ数が延8万以上に達し、『いいね!』数も増加。地域が外への拡散、発信につなげる事ができた。当プロジェクトがきっかけとなり、地域のアウトドア関連業者10団体によるアウトドア協議会が発足するなど、地域の魅力を活かした外部への発信する基盤を整える事ができた。

※自己評価 【A】

【理由】多くの関係者との連携で、『伊那っていいね!』という想いが共有できた。また、補助金活用で終わるのでなく、地域創生に最も重要なビジネスに結びつける事ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回実施した基盤を軸に、街と山を繋ぐYamaFES2017を企画。地元の客層を超え外部をターゲットとした誘客へ発展させる。アウトドア協議会発足により観光コンテンツを充実させる事ができる為、山の魅力を十分に訴求する事で、登山客や観光客の増加を狙い、飲食や宿泊などへの経済効果を生む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある